

3年*組 国語科学習指導案			
平成 *年 *月 *日 (*)	第*校時	* *教室	指導者 仲野 菜穂
育成する国語の能力	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう能力		
単元名	小説II『葉桜と魔笛』		
単元目標	○文章を読んで、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わおうとする。 ○文章を読んで、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。 ○文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現や推敲に役立てる。 (知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]「現代文B」内容の(1)の才)		
単元の評価基準	関心・意欲・態度 ①小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に捉えようとしている。 ②小説を読み、表現を味わおうとしている。	話す・聞く能力 ①小説に描かれた人物、情景、心情などを的確にとらえている。 ②小説を読み、表現を味わっている。	知識・理解 文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現や推敲に役立てている。
取り上げる言語活動	文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
教材	『葉桜と魔笛』太宰治 (『展開 現代文 改訂版』桐原書店) (1) 生徒観：授業で学習した内容はおおよそ理解できるが、積極的に読書しようという姿勢に欠けるため、小説に描かれた心情や情景等を読み味わい、さらに自分の考えを深めるところまでは達していない。 (2) 教材観：本教材は、生徒にとっても身近な関心事である「恋」「異性」が取り上げられている。また、女性獨白体という斬新なスタイルが用いられている。本教材で語り手を書き換える取り組みを行えば、小説の人物、情景、心情の描写を捉える力が付き、読みを深めることができると考える。 (3) 指導観：これまででは講義形式の授業中心であった。しかし、このような受身の授業では生徒自身の読みを深める機会は少なくなってしまう。今回は、最初に全体で語句の意味や話の流れを確認するにとどめ、後は生徒自身がじっくり小説と向き合う時間を設ける。その際、まとめやすいよう簡単なワークシートを準備する。また、机間指導やグループでの話し合いを通してさらに考えを深められるよう工夫する。		
教材について			
指導計画(学習計画)	<b>主な学習活動</b> ○第1・2時 • 「葉桜と魔笛」を読んで、内容を捉える。 • ワークシートを活用し、小説に書かれていた出来事や登場人物の心情などを時間の経過に従って記述する。 • 語句の意味や用法を調べる。		主な評価 • 小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に捉えようとしている。 (関心・意欲・態度①)
	○第3・4時 • 語り手の人物を誰に変えるか、どの場面を書き換えるか検討する。 • 本文中には書かれていない情景や心情をワークシートに細かく記述する。		• 小説に描かれた人物、情景、心情などを的確に捉えている。 (読む能力①)
	○第5時 • グループワークを行い、自身のワークシートに記述したことを簡単に紹介する。その後、ワークシートの内容を再検討する。		• 表現に即して読み、自分の考えを深めようとしている。(関心・意欲・態度②) • 表現に即して読み、自分の考えを深めている。 (読む能力②)
	○第6・7時 • 書き換えた文章をワークシートに記述する。併せて自分が書き換えた根拠を記述する。		• 文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てている。 (知識・理解)
	○第8時 • 他者の書き換えを読み、評価シートにそれぞれの良かったところを記入する。 • 自分の書き換えを読み、評価シートに良かったところと見直す必要のあるところを記入する。		• 表現に即して読み、自分の考えを深めている。 (読む能力②)

本時案(全8時間中第5時)		
本時の目標	<input type="checkbox"/> 表現に即して読み、自分の考えを深めようとしている。(関心・意欲・態度) <input type="checkbox"/> 表現に即して読み、自分の考えを深めている。(読む能力②)	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 本時の学習目標を知り、前時の学習内容を確認する。(一斉)	<input type="checkbox"/> 本時の学習内容を板書し、生徒が視覚的にも確認できるよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 構思的学習に臨む姿勢が認められる。 〈行動の観察〉
グループワークでお互いの記述内容を評価し合うことで、じぶんの考えを深める		
2 同じ場面を選択した者同士のグループに分かれる。	<input type="checkbox"/> 事前に、生徒のワークシートを確認し、同じ場面を選んだ者同士のグループに分けておく。その際、人数に偏りがないよう調整しておく。	<input type="checkbox"/> わかりやすい紹介ができるよう、しっかり考えている。 〈行動の観察〉
3 自分がワークシートに記述したことを見直し、5分でわかりやすく紹介できるよう考える。(個人)	<input type="checkbox"/> 語り手を誰に書き換えたかを最初に提示するとわかりやすいことを伝える。その他、机間指導しながら個々に合わせたアドバイスをする。	<input type="checkbox"/> ワークシートの内容を聞き手にわかりやすく紹介している。 〈発表内容の確認〉
4 自分のワークシートの内容を紹介する。他の生徒の内容に対して質問をする。(個人・グループ)	<input type="checkbox"/> 質問が内容の批判にならないためには、どこに着目し、どのようなことを聞けばよいか考えさせる。 <input type="checkbox"/> 和やかな雰囲気になるよう努める。	<input type="checkbox"/> 発表者の立場を考えた質問ができる。 〈発言の確認〉
5 グループで話しあった内容をもとに、自身のワークシートを再検討する。(個人)	<input type="checkbox"/> 他の生徒の質問から、どのように書き直すとより伝わりやすくなるか考えるよう伝える。	<b>【評価】</b> 表現に即して読み、自分の考えを深めようとしている。 (関心・意欲・態度) 〈行動の観察〉
6 再検討したワークシートを提出する。(個人)	<input type="checkbox"/> きちんと書かれているか確認し、書き終えていない場合は、本日中に必ず提出するよう指示する。	<b>【評価】</b> 表現に即して読み、自分の考えを深めている。 (読む能力②) 〈提出されたワークシートの記述内容を確認〉
7 次時の学習内容を確認する。	<input type="checkbox"/> 次時では、文体等にも注意しながら文章化すること、また、根拠も併せて書くことなども指示する。	